

議会だより



あやがわ

綾南中学校



綾上中学校



コロナ対策を施し、3年生のために
綾歌・坂出地区交流体育大会及び校内での文化部発表会が実施されました

2020

NO. 58

令和2年10月22日
香川県綾川町

定例会のあらまし（物品売買契約の締結等）	2P
代表監査委員の意見	4P
4 委員会報告（防災倉庫新設工事費の増額補正等）	5～8P
一般質問（経済対策、コロナ対策等で11人が質問）	9～19P
がんばっじよるで（綾上少年野球クラブ）	20P



綾川町議会ホームページ

9月定例会

あやがわ赤ちゃん応援特別給付金 1008万1千円（補正予算）

9月定例会は9月7日から11日までの会期で開催した。

初日は町長による議案14件、諮問1件、報告3件の提案理由の説明があった。また、一般質問に11議員が登壇し、執行部の考えを質した。

提案された議案は、関係常任委員会及び特別委員会に付託し、散会した。

11日に本会議を再開し、追加議案1件と、各常任委員会での審議内容について報告を行い、原案どおり可決した。

「令和元年度一般会計及び特別会計、公営企業会計の決算認定」は、12月までの継続審査とし、決算審査特別委員会に付託した。

今定例会の傍聴については、新型コロナウイルス感染者が増加し、香川県において9月11日まで「感染警戒期」としているため中止とした。



子育て相談

物品売買契約の締結

●道の駅滝宮うどん会館管理

備品購入事業

契約金額（消費税込）

933万9千円

契約者

四国事務機(株)

代表取締役 六車 繁樹

工期

令和2年9月11日

（令和2年11月30日）

●高松市消防局綾川分署

高規格救急自動車購入事業

契約金額（消費税込）

1771万円

契約者

香川トヨタ自動車(株)

代表取締役 灘波 順一

工期

令和2年9月11日

（令和3年3月19日）

●高松市消防局綾川分署

高規格救急自動車（高度救命処置用資機材）購入事業

契約金額（消費税込）

1886万5千円

契約者

尾路医科器械(株)

代表取締役 尾路 豊暢

工期

令和2年9月11日

（令和3年3月19日）

●小中学校情報機器等整備事業

契約金額（消費税込）

（令和2年9月11日）

1億2760万円

契約者

四国通建(株)高松支店

支店長 藤田 一司

工期

令和2年9月11日

（令和3年2月26日）

主な条例の一部改正

●綾川町職員の特殊勤務手当に関する条例

令和2年4月21日総務省通知

「新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための防疫等作業手当の特例の運用及び業務体制の確保について」を受け、国の取扱いに準じた措置を講ずるため。

綾川町職員の特殊勤務手当に関する条例を改正する。

●綾川町手数料徴収条例

個人番号通知カード再交付手数料の廃止に伴う改正。

●綾川町うどん会館の設置及び管理に関する条例

うどん会館のリニューアル工事に伴い、テナントスペースやフードコートの創設等により、施設の構成の変更が生じるため、また、指定管理者がテナントスペースを貸し出すための条項を追加する必要が生じたため、条例を改正する。

固定資産評価審査委員会委員の選任の承認

退任により欠員になった固定資産評価審査委員会委員の選任に承認した。

任期 令和2年8月1日

（令和3年5月10日）

長尾 光崇（68歳） 新任

綾川町羽床下253番地

人権擁護委員の推薦同意

任期満了（令和2年12月31日）に伴い、委員の推薦に同意した。



定例会・審議結果



大上 茂 (66歳)
綾川町 陶 茂 (66歳)
5651番地 1
新任



四宮 玲子 (66歳)
綾川町 山田 玲子 (66歳)
3083番地 2
再任



山本 正昭 (69歳)
綾川町 北 263番地 1
再任



岡内 利文 (67歳)
綾川町 畑田 731番地 18
再任

令和2年度補正予算 (歳出のうち主な増額補正)

◎一般会計

2億9349万4千円を増額し、総額133億1692万円とした。 (千円)

地方振興費	7,786
特別定額給付金費	10,081
社会福祉総務費	19,593
予防費	34,790
新型コロナウイルス感染症対策費	17,258
商工振興費	121,400
災害対策費	29,480
学校管理費 (小学校・中学校)	25,994

◎特別会計

(千円)

国民健康保険	一般管理費	1,293
国民健康保険診療所	一般管理費	700
育英事業費は、寄附採納により基金繰入金を減額する財源組み替えのため増減なし		

◎企業会計

(千円)

国民健康保険陶病院	病院事業費用	8,410
介護老人保健施設	施設事業費用	2,800

9月定例会 (9月7日～11日)

■全会一致の議案

議案の内容	議決結果
固定資産評価審査委員会委員の選任の承認	原案可決
綾川町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	〃
綾川町手数料徴収条例の一部改正	〃
綾川町うどん会館の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃
物品売買契約の締結 (道の駅滝宮うどん会館管理備品購入事業)	〃
物品売買契約の締結 (高松市消防局綾川分署高規格救急自動車購入事業)	〃
物品売買契約の締結 (高松市消防局綾川分署高規格救急自動車(高度救命処置用資機材)購入事業)	〃
令和2年度綾川町一般会計補正予算 (第3号)	〃
令和2年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	〃
令和2年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算 (第1号)	〃
令和2年度綾川町育英事業特別会計補正予算 (第1号)	〃
令和2年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計補正予算 (第1号)	〃
令和2年度綾川町介護老人保健施設事業会計補正予算 (第1号)	〃
綾川町人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	〃
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	〃
物品売買契約の締結 (綾川町立小中学校情報機器等整備事業)	〃

創意工夫を凝らし、限られた経営資源で最大の事業効果を発揮し、持続可能な財政構造の確立に向けた積極的な取り組みを。

綾川町一般会計及び特別会計並びに企業会計の決算審査を実施し、慎重に審査した結果、いずれも正確に経理されており適正であると認められました。

決算結果



代表監査委員
なが おのり
長尾 芳則

令和元年度の一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、

歳入が185億7119万3千円余、歳出が172億1510万7千円余であり、実質収支でも7億7871万2千円余の黒字となっている。

また、自主財源と依存財源の構成割合は45・4%対54・6%である。

歳入の町税は、30億8567万円余で、前年度比1億628万8千円増加し、現年度分の町税収納率は上昇し、コンビニ収納等による効果が見える。町税は本町の重要な自主財源であるので、収納対策の強化など、更なる収納率の向上に努められた。

歳出は、扶助費を中心とした義務的経費や老朽化した本町の公共施設対策に財源の多

くを充てなくてはならない状況であり、各事業における費用対効果を検証し、事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底されたい。

公営企業会計

陶病院事業は、病院事業収益は前年度比2・15%増の消費税抜き13億2091万5千円余、病院事業費用は前年度比4・75%減の消費税抜き12億1976万8千円余で、1億114万5千円余の純利益での決算である。入院部門、外来部門ともに、延べ患者数が減少したが、医業収益は前年度比2・6%増、外来利益も0・7%増であった。

直近の5年間では、病院事業は、入院の部で、延べ患者数、入院収益ともに増加しているが、外来は、患者数、収益ともに減少している。原因を分析し是正していくことが必要である。

介護老人保健施設の事業運営収益は、依然として平成26年度から続く損失決算は解消するに至らず、年度末における未処理欠損金残高は増加している。

令和元年度も損失決算となり、現金は5082万3千円余減少し、年

度末現金現在高が2023万5千円余となっている。

老健あやがわ「あり方検討委員会」より、指定管理者制度を導入することが適当である旨の答申がされ、町民にとって必要な施設として、地域の医療機関や事業所と連携を図りながら継続して事業運営に努めることが必要である。



老健あやがわ

総評

綾川町第2次総合振興計画を柱に、様々な取組を実施してきた成果として、当初想定されていた人口減少が緩やかに推移している。

令和元年度は、第1期「綾川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の最終年度であり、次期に繋げるため、総合振興計画の基本目標である9つ

の「基本計画」に基づき、施策に取り組まれ、各事業実施の進捗を確認出来た。

今年度になって更に猛威を振るう新型コロナウイルス禍にあつて、経済の停滞が歳入にも大きく影響することが懸念され、多様な災害への対応を検討しておくことも必要になっている。

こうした中、歳入規模に見合った歳出構造を堅持していくため、適切な財源配分により、本町の魅力を高めるような施策にも取り組むなど、これまで以上にコスト意識と将来の人口減少を念頭に置いた事業の見直しに取り組むほか、引き続き自主財源の確保に力を傾けることが望まれる。

決算審査特別委員会設置

12月議会で報告できるよう、令和元年度一般会計・特別会計・公営企業会計の決算内容を審査する。

決算審査特別委員

委員長 大野 直樹
副委員長 三好 東曜
他、議長及び議会選出
監査委員を除く12名

総務委員会

綾川町職員の特種勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症患者への対応や、防疫作業等に従事した職員に対し、衛生手当を支給するものである。令和2年4月1日から遡^{さかのぼ}及適用したいとの説明があった。

令和2年度綾川町一般会計補正予算

歳出

●議会関係

・コロナ禍にあつて、議員全員研修の中止に伴う費用弁償等の減額補正。

●総務課関係

・新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備え、職員のインフルエンザ予防接種手数料を増額補正。

・「ことடன்」に対する補助金として、新しい生活様

式対応利用促進補助金、感染防止運行支援事業補助金の増額補正。

・消防費として、2次避難所に新型コロナウイルス感染対策消耗備品とそれを保管するための防災倉庫新設工事費の増額補正。

●教育委員会関係

・新型コロナウイルス感染症予防対策事業として、小中学校費で感染予防消耗品費や修学旅行のキャンセル料補助の増額補正。
・スクールバス増便に係る運行費の増額補正。

歳入

・普通交付税の増額補正。
・国庫補助金において新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、小中学校の新型コロナウイルス感染症予防対策に係る学校保健特別対策事業費補助金の増額補正。

・財政調整基金繰入金において、専決及び6月補正対応の財源としていたが、交

付金等の財源が確保できたことによる財源組み替えの減額補正。

・諸収入において職員の共済インフルエンザ予防接種助成金、救急自動車導入の補助として高松空港周辺地域助成金の増額補正。



現在設置されている防災倉庫

令和2年度綾川町育英事業特別会計補正予算

寄付採納により、基金繰入金を減額する財源組み替え。

令和元年度綾川町健全化判断比率及び資金不足比率

実質赤字率、連結実質赤

字率、将来負担比率、及び資金不足比率については該当がなく、実質公債費比率はマイナス2.1%であり、健全に運営されているとの説明があった。

報告

・町営バスのフリー乗降区間として、南かざし団地、滝宮グリーンハイツが追加された。

・令和2年度綾川町成人式開催に向けての検討状況の説明があった。
・緊急学生支援金給付事業について、9月4日現在で59名の申請があり給付を実施した。

その他

問 学校の登下校時のマスク着用の指導は。

答 熱中症対策として、距離が取れる場合は非着用も認めている。保護者には、感染予防のためのマスク着用を啓発していく。

厚生委員会

現地踏査

綾川町立陶こども園改修工事現場を視察した。

問 2階の避難用すべり台では避難時間がかかり、滑りも悪い材質と見受けられるが。また、陶こども園の耐用年数は。

答 日頃から避難訓練等を実施し、園児の誘導等に万全を期したい。避難用すべり台は滑り具合等を確認し、研磨等の方法を検討する。平成4年の建築であり、耐用年数については、長寿命化計画を策定し検討する。

令和2年度綾川町一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策第3弾

①綾川町あんしんタクシー助成事業（1959万3千円）

高齢者、障害者、妊産婦



あんしんタクシー助成事業

といった感染リスクの高い方々にタクシー助成券を配布する。

②あやがわ赤ちゃん応援特別給付金（10008万1千円）

令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生した新生児に1人あたり10万円を支給する。

③インフルエンザ予防接種促進対策事業（3479万円）

インフルエンザ予防接種費用の助成を拡大し負担軽減を図り、町民の健康保持を目的とする。

④綾歌地区PCR検査セン

ター（1725万8千円）

綾歌地区医師会と協力し、町内にドライブスルー方式の「綾歌地区PCR検査センター」を設置する。

●総務費

住民基本台帳システムと戸籍附票システムをマイナンバーで紐づけするためのシステム改修費の増額補正。

●民生費

保育用具の購入費、病児保育室「うぐいす」と子育て支援センター「しいのき」の会計年度任用職員に係る人件費、病児保育室「ひだまり」「しいのき」「放課後児童クラブ」の新型コロナウイルス対策に係る備品購入費等の増額補正。

問 綾歌地区PCR検査センター設置について、運用手順や期間、検査基準等はどうか。

答 地区医師会と協議し、進める。

問 コロナハラスメントの対応はどうか。

答 各課や法務局と連携して、相談者に寄り添った対応をしていく。



綾川町女性活躍企業等認定制度実施要領の制定

女性活躍推進法に基づき、女性活躍推進に積極的に取り組みんでいる町内企業等を「女性活躍企業」として認定し、女性の職業生活における活躍の推進をはかるもの。また、特に優れた取り組みを実施している企業等を表彰する。

要望 丁寧な募集案内を。

一般廃棄物の搬入

徳島県みよし広域連合の清掃センターの焼却施設改修工事に伴い、工期中の10月28、29日の間、三好市と東みよし町の可燃ごみ最大50トン进行町内の民間処理業者へ搬入するもの。

要望 各自治体で処理するのが原則なので、今後安易な受け入れはしないように。

ひとり親世帯臨時特別給付金（国支給分）

児童扶養手当受給者等へ給付金を支給するもの。

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業（医療分・介護分）における慰労金の支給

陶病院150名程度、老健あやがわ60名弱、綾上診療所22名の職員に一人5万円支給する。

令和2年度綾川町国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ129万3千円を増額補正。歳出は、令和3年1月1日施行

の個人所得税の見直しに伴う、国民健康保険税の軽減判定所得の見直しに係るシステム改修費用の増額補正。

令和2年度綾川町国民健康保険診療所特別会計補正予算

歳入歳出それぞれ176万円の増額補正。歳出は、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金、介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金等の増額補正。

令和2年度綾川町国民健康保険陶病院事業会計補正予算

収入支出それぞれ841万円の増額補正。支出は、新型コロナウイルス感染症対策としてサーマルカメラ設置費用および、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の増額補正。

令和2年度綾川町介護老人保健施設事業会計補正予算

収入支出それぞれ280万円の増額補正。支出は、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の増額補正。

建設経済委員会

綾川町うどん会館の設置
及び管理に関する条例の
一部改正

うどん会館のリニューアルに伴い、その事業内容、施設構成、指定管理者が行う業務の範囲及び利用料金等について改正する。

問 直営レストランの運営方法と改装についての考え方は。また、テナント部分の売上金の確認方法は。

答 レストランは、指定管理者が事業者に運営委託し、改装は町において行う。
また、テナントの売上金は、毎月、事業者が指定管理者に対して売上報告書を提出し、確認していく。

問 産直市とスイーツショップの開店が遅れる理由と開店時期は。また、開店までの期間における賃料の取扱いは。

答 産直市は、香川県農協の内部機関において、契約

内容等の審査に時間を要したことによるものであり、町としても説明を受け、来年3月中には開店していた

べくよう協議している。

また、スイーツショップは、コロナ禍の影響などが考えられるが、開店時期と併せて事業者を確認する。

賃料は、売上高に応じて算定することになっており、開店後から発生するものと考えている。

要望 開店までの期間に対する賃料の取扱いは、事業者と協議していただきたい。リニューアルの効果を最大限に活かせるように、早

期の全面オープンに向けて、努力いただきたい。

令和2年度綾川町一般会計補正予算

次の事業に係る増額補正を行う。

● 商工費

『あやがわスマイル応援券』の追加発行事業

● 災害復旧費

本年7月の梅雨前線豪雨による2地区の農地災害復旧事業

問 『あやがわスマイル応援券』の増額分の追加募集方法は。

答 当初予算に計上した5



「道の駅滝宮」の店内イメージパース



好評により増額した「あやがわスマイル応援券」

万セット分は、既に当選者が決定している。今回、補正予算に計上している1万セット分は、9月25日から10月9日にかけて、募集を行う予定である。

問 災害復旧対象農地の作付け状況は。

答 2地区とも水稲の作付けが行われている。

その他

「株式会社綾南プラザの経営状況」「公営住宅の入居者募集の時期」「用水路

等への転落防止対策」「うどん会館リニューアル工事」「長柄ダム再開発事業」について、それぞれ、現況や進捗状況などについての報告があった。

特に、「うどん会館リニューアル工事」に関しては、変更契約を予定していることから、内容を精査した上で、現地踏査及び協議の依頼があった。

問 農家民泊を行う事業者に対する補助制度を創設しては。

答 農家民泊については、引き続きそのPRに努めるとともに、GOTOトラベルキャンペーンの対象となるようであれば、その活用についても検討したい。

要望

① 中小企業者等事業継続支援利子補給事業の対象者への周知徹底をお願いしたい。
② 町外からの買い物客に対する消費喚起施策の検討をお願いしたい。

学校等再編整備 調査特別委員会

綾川町立中学校統合
準備検討会

委員名簿、検討事項（案）

等について、説明があった。

問 検討会の開催予定日は、両校の交流事業について、具体的な内容は、統合に係らず速やかに行うように。

答 検討会は、10月初旬には開催したい。交流事業は、両中学校に要請しているが、コロナ禍でもあり調整中である。

問 通学路に歩道がない所があるが整備が先ではないか。また、街灯設置など、町全域での通学路対応について、どのように考えているか。

答 県道の歩道整備は、中讃土木事務所に要望している。通学路対応については、全町的な状況を調査し、対

応を検討していく。

問 現在、コロナ禍の状況であり、統合時期はコロナの終息まで、据え置くべきではないか。統合校のコミュニティスクールは、どのような形で進めるのか。

答 統合は、町の方針に基づき進めていく。コミュニティスクールは、統合校の学校経営・学校運営の方向性ができた中で進めていく。



歩道が未整備の県道府中造田線

その他

問 中学校統合後、共同調理場の運営は、綾上小学校での自校方式とするのか。

答 現在、綾上中学校、綾上小学校、山田こども園へ、

合わせて約400食を提供している。統合しても一定の供給があり、綾上小学校へ移転の予定はない。

問 可能であれば羽床上こども園も、共同調理場で作ったらどうか。

答 今後、研究・検討していく。

問 コロナ対応として、非接触型体温計は、各学校各クラスにあるのか。

答 全クラスに配備している。

問 各クラスの人数について、35人学級編制をどう考えるか。

答 現在、小1から小4と中1で、35人学級編制を実施している。今後の学級編制については、国も見直しを検討している。

問 自転車通学の生徒が多い中、事故を防ぐため、保険加入を義務付ける自治体もある。安全利用の取り組みは。

答 今後、検討していく。

全会一致で意見書を可決

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書（抜粋）

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている中で、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減と、償還財源を確保すること。
- 2 地方交付税は、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
- 3 万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目にも、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
- 4 国税・地方税の政策税制については、整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
- 5 固定資産税は、重要な基幹税であり、制度の見直しは、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年9月11日

提出先：衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣・内閣官房長官・経済再生担当大臣・まち・ひと・しごと創生担当大臣

あやがわスマイル応援券

追加募集10,000セット!ひとり最大 2万円お得!

さらなる経済の活性化を図るため、20%のプレミアムがついた商品券の申込みを追加で募集します。
1セット 12,000円分の商品券を10,000円で販売。1回目の募集と併せて、ひとり最大10セットまで購入可能。
今回は、10,000セットを販売します。まだお申込みでないかたは、ぜひご応募ください。

経済課 ☎ 876-5282

町民のみなさん・町内で働いているみなさんへ

中小企業者等事業継続支援臨時給付金

3ヶ月間の売上高合計が前年比30%以上減となった町内に事業所のある事業者及び町内在住の個人事業主に、20万円を給付（令和2年6月22日から令和3年1月15日までに郵送、当日消印有効）
・町内に住所又は事業所がある法人・個人事業者 1事業者 200,000円

事業主のみなさんへ

中小企業振興資金利子補給事業

セーフティネット保証又は危機関連保証の認定をうけ、「香川県新型コロナウイルス感染症対応資金」で借り入れた運転資金に対し、5年間利子補給

中小企業者等事業継続支援利子補給

「中小企業者等事業継続支援臨時給付金」の交付決定通知を受けた事業者が令和2年1月1日以前に借り入れている設備資金に対し、上限 2,000 万円まで 2 年間利子補給

経済課 ☎ 876-5282



大野直樹 議員

あやがわスマイル応援事業

乾杯条例を制定しては

今後の研究課題としたい

問 “お酒を飲むコト”“酒蔵を訪ねるコト”“酒造りのルーツに触れるコト”“全てがコト消費に繋がる。地元の製造業者や農業者をはじめ、関連産業の振興を図る為、飲

答 食業や販売店を、少しでも勇気づけることが出来る、地酒での乾杯を推奨する条例の制定をお願いする。

も、酒造会社の存在意義は大きい。酒造会社からも町内の飲食店で地酒の利用を促すよう働きかけていただきたい。

一歩踏み込んだ経済対策を

何をすれば有効かを検討しながら対策を講ずる

問 今後条件の変更は検討していくのか。

答 今後の社会経済情勢の推移や、町商工会・町内事業所からご意見をいただき、新たな支援制度、既存制度の変更も含め検討していく。

問 今後の社会経済情勢の推移や、町商工会・町内事業所からご意見をいただき、新たな支援制度、既存制度の変更も含め検討していく。

答 今後の社会経済情勢の推移や、町商工会・町内事業所からご意見をいただき、新たな支援制度、既存制度の変更も含め検討していく。

問 事業者はお客様に陽性反応がでた場合、風評被害等を受ける場合もある。

答 事業者はお客様に陽性反応がでた場合、風評被害等を受ける場合もある。

問 売上が一時的に落ちたり、休業を行った場合に、お見舞金を給付することはできないか。

答 売上が減少した場合は、「綾川町中小企業者等事業継続支援臨時給付金制度」を、休業しなければいけない状況のときは、「雇用調整助成金制度」を活用し、安心感のある雇用の確保をお願いしたい。

問 売上が減少した場合は、「綾川町中小企業者等事業継続支援臨時給付金制度」を、休業しなければいけない状況のときは、「雇用調整助成金制度」を活用し、安心感のある雇用の確保をお願いしたい。

答 売上が減少した場合は、「綾川町中小企業者等事業継続支援臨時給付金制度」を、休業しなければいけない状況のときは、「雇用調整助成金制度」を活用し、安心感のある雇用の確保をお願いしたい。

問 売上が減少した場合は、「綾川町中小企業者等事業継続支援臨時給付金制度」を、休業しなければいけない状況のときは、「雇用調整助成金制度」を活用し、安心感のある雇用の確保をお願いしたい。

問 通常でも負担が大きい中で、町内外の事業所で頑張る医療、福祉、保育の最前線で働く方に対し、町独自の慰労金の交付を行っている。

答 どの職種においても対策が必要であり、区別することが難しい。町独自の従事者への給付は困難である。コロナ禍で業務を行うご苦労に感謝申し上げる。

問 どの職種においても対策が必要であり、区別することが難しい。町独自の従事者への給付は困難である。コロナ禍で業務を行うご苦労に感謝申し上げる。

答 どの職種においても対策が必要であり、区別することが難しい。町独自の従事者への給付は困難である。コロナ禍で業務を行うご苦労に感謝申し上げる。



陶小学校とオイスカの稲刈り交流



福家利智子 議員

コミュニティスクールの推進は

地域の活性化や生きがいにつながる

問

地域とともにある学校づくりを目指して、コミュニティスクール、いわゆる学校運営協議会制度を設置している数は全国で6700校を超えている。

従来の、学校教育が国主導型の画一的な教育から地域の力を生かして、子どもたちのコミュニケーションなどを育む、創意工夫のある仕組みに

変えていく必要があるのでは。

コミュニティスクールへの推進をどのように取り組むのか。

答

本町において、昨年綾南中学校、今年陶小学校においてコミュニティスクールを設置した。

コミュニティスクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となつて、特色ある学校づくりを進

めていくことを目指している。

保護者や地域住民が、学校運営や教育活動へ参画することは、学校や子どもたちとの一体感を育み、地域の活性化や生きがいにもつながる。さらに、子どもたちに安心して安全な生活と、学びや体験が保障できるものと考える。

農業の6次産業化の推進は

ハード、ソフトの両面から支援しつつ

問

6次産業化は少子高齢化、後継者不足などを改善し、将来の農業をより明るくするための重要な取り組みであり、所得の向上や農作物の生産拡大につながる。今後6次産業化の取り組みを拡

答

大していくために、どのような支援策を講じていくのか。

新たに6次産業化に取り組む希望がある農業者から本町へ相談があった場合、支援の窓口である「かがわ6次産業化推進センター」

や「県中讃農業改良普及センター」等と連携して相談にあたり、国や県の6次産業化関連補助事業や町の創業支援事業補助金制度を活用し、ハード、ソフトの両面から6次産業化を支援していきたい。



オープンに向けて工事中の道の駅滝宮・うどん会館



安藤利光 議員

道の駅滝宮・うどん会館、全館の同時オープンに

12月中旬以降順次オープンとなる

問

町長は、3月定例会で「道の駅滝宮・うどん会館は、平成31年1月に国が地方創生の核として支援する重点『道の駅』候補に選定されており、リニューアル後は町民に喜んでいただける施設にしたい」とし、早期オープンに向けて進めたいと述べた。現在、12月オープンを目指し工事を進めているが、産直

町長は、3月定例会で「道の駅滝宮・うどん会館は、平成31年1月に国が地方創生の核として支援する重点『道の駅』候補に選定されており、リニューアル後は町民に喜んでいただける施設にしたい」とし、早期オープンに向けて進めたいと述べた。現在、12月オープンを目指し工事を進めているが、産直

市施設が完成しオープンするのが3月末予定と聞く。オープンは、早期に同時にすべきでは。

答

テナント内装工事を行い、12月中旬同時オープンを目指し進めてきたが、JAやテナントの内部事情もあり同時オープンは難しい状況となった。残念だが、12月中旬以降順次オープンとなる。

問

町営バス路線改正も行うので、同時オープンを。

答

12月同時オープンは難しくなったがJAもファミリーマート県内第2号店として、すばらしいものにしていくという意気込みは町も感じている。同時オープンができず、残念だが、ご理解願いたい。

選手寮としての旧西分保育所の利用は

コロナウイルス感染拡大で選手の選考機会が困難

問

綾川町は、旧西分保育所を女子サッカーチームの選手寮として利用する目的で、2000万円余りもかけて改修してきた。しかし、現在入寮者はいない。町民からは、宿泊施設としてつくつ

たのに、利用しないのはもったいない等の声もある。

今後、利用と選手募集はどのように。また来られている選手のために支援が必要では。

答

選手募集は、新型コロナウイルス感染拡大に

より、選手を選考する機会が確保できていないが、コロナ禍の中、チームのゼネラルマネージャー等は、県外の高校・大学を個別に回り、選手獲得のため奔走している。

もう少し長い目で見守っていただきたい。



流した汗が実を結ぶ季節（滝宮地区：9月14日）



井上博道 議員

農地転用答弁及び転用関連問題は

引き続き、農地の適正利用に努める

今年6月の私の一般質問では、滝宮地区の農地無断転用に係る、農地の適正利用と遵法管理指導について尋ねた。法治国家において、不法行為は絶対に許されない。本件地元の安寧、同様事例の発生防止、本町の更なる発展を願い、本件農地転用答弁及び関連問題についての考えを問う。

今年6月に「今年7月の農業委員会には農地転用許可申請書は出ると思っている」との本町答弁があったが、申請書は出なかった。結果的に、虚偽答弁の誇りを免れないが、どのような協議をしていたのか。

不測の事態が発生し、当該土地所有者は締切日までに提出できなくなった。当該土地所有者に対して、無断転用解消を図るための是正申請に必要な関係書類作成指導等を積極的に行なってきた。

今年8月の農業委員会には農転許可申請書が提出されたが、当該土地所有者、地元水利関係者等との話し合いの状況、農業委員会での本件審議状況と結果は。

当該土地所有者と地元水利関係者、農業委員等が話し合い、水利組合、隣接農地所有者の同意を得た。審議の結果、許可相当と判断して県へ進達している。

当該土地の使用実態（農地）と地目（サッカー場）と地目税金項目はどうか。固定資産税納入及び差額処理状況、延滞料金発生有無、本町内の本件と似たような事例有無、農業委員会及び関係部署との連携有無は。

固定資産税の納入及び差額処理状況、延滞金有無は個人情報に関わるので答えは控える。法務局からの登記済み通知、農業委員会からの情報提供、関係部署からの申出等があれば、実地調査をして地目認定している。土地評価に影響がある情報も提供してもらう等、適正かつ公平な課税に努めたい。

無断転用は決して許されないが、許可権者である香川県知事が「追認許可」と判断した場合は、町も妥当な判断と考える。町で追認許可要件を細分化して厳しくする条例は制定すべきではないと考える。

追認許可制度は感心できない。町当局は追認許可制度と、町条例で、追認許可要件を細分化して厳しくすることについてどう考えるか。

固定資産税をきちんと納めていたのか。基本的な考えと対処有無は。税務課では利用状態が明らかでなかった。次年度において課税に向けて、課税地目の認定をしたい。支払い等については個人情報のため、答えは控える。

固定資産税をきちんと納めていたのか。基本的な考えと対処有無は。税務課では利用状態が明らかでなかった。次年度において課税に向けて、課税地目の認定をしたい。支払い等については個人情報のため、答えは控える。

固定資産税をきちんと納めていたのか。基本的な考えと対処有無は。税務課では利用状態が明らかでなかった。次年度において課税に向けて、課税地目の認定をしたい。支払い等については個人情報のため、答えは控える。



新型コロナと同時流行を防ぐインフルエンザ予防接種



松内 広平 議員

コロナ禍での小中学校の思い出作りを

学校独自で取り組んでおり、ICTを使った遠隔地コミュニケーションは今後検討する

問

小中学校ではコロナ禍で行事の中止に伴い、新たな発想で思い出となる活動や行事を実施できないか。

例えば、『eスポーツ大会、オンライン旅行、ICTを使った遠隔地とのコミュニケーション・授業、生徒のアイデアで行事を企画』など。

答

各小中学校独自で取り組んでいる。

●中学校：伝統演技の「全校ソーラン」を生徒自ら企画・立案し「ソーラン継承の集い」を計画。パフォーマンスをステージで発表し、仲間と音楽を創り上げる喜びと感動を共有できる機会を設定する。

●小学校：運動会の代替行事として、「体育学習発表会」を実施する小学校もある。開会式・閉会式は6年生からアイデアを募り、企画・運営を任せることで思い出づくりにつなげる。
ICTコミュニケーション活用は、今後検討する。

インフルエンザ予防接種を全住民無料に

満18歳までと65歳以上を無料として、その他は25000円の助成を行う

問

この冬はインフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が心配される。見分けがつかず、インフルエンザ検査の際に、医療従事者は防護服等の感染症対策が必要になる。流行を抑え、医療現場の負担軽減のために、町内の全住

答

民のインフルエンザ予防接種費用を無料にしている。

同時流行回避の対策として、インフルエンザ予防接種費用を助成拡大する。今年度、65歳以上の定期接種と生後6ヶ月～満18歳に到達する者までの自己負担を

無料とし、19歳から64歳までの方は25000円の助成を行う。さらに60～64歳の方は県の補助も加え、合計45000円までの助成を行う。
ただし、ワクチンの供給量に限度があることから、感染リスクの高い方への助成を厚くする。



植 田 誠 司 議員



地域の活性化に有用な跡地利用が望まれる旧杣所幼稚園と周辺施設

旧杣所幼稚園の今後の運営について

次年度の入園申込みの状況等を見ながら、
方向性を定めていく

問

令和2年4月より旧杣所幼稚園は、山田こども園杣所分園として位置付けられ、現在休園という形で存続している。

今後の利用について、一部団体が跡地を利用したいとの相談があったが、現在休園中で目的外の使用が制限されていると聞く。もし跡地利用で地元が活性化するような事業が出てきた場合、廃園という形にしないと跡地の有効利用は出来ないのか。

答

旧杣所幼稚園は、現在山田こども園杣所分園となっているが、本年度は入園申込がなく休園とした。次年度についても、同様に入園募集を行うが、集団保育の充実を図る目的からも一定の人

員が集まらない場合は、引き続き休園とする。

旧杣所幼稚園の跡地利用については、現在の施設として、子育てに関すること以外に使用する場合には、認定こども園の廃園手続きが必要になる。

町としては、次年度の入園申込みの状況等を見ながら、施設の方向性を定めていく。

要望

このことについて、これから地域のための跡地利用の案件があった場合は、十分な地元説明を含め、スムーズに進めていくよう要望する。

杣所幼稚園沿革

昭和28年10月 杣所村立杣所幼稚園を開設
昭和29年 4村合併により綾上村立杣所幼稚園と改称
昭和31年2月 火災により全焼、杣所中学校を臨時園舎とする
昭和34年12月 園舎新築移転する
平成15年3月 現在地に園舎新築移転する
令和2年4月 山田こども園杣所分園となる
同年 入園希望者が無く休園となり現在に至る



新型コロナ禍での初任者研修



西村 宣之 議員

ウィズコロナの時代における職員研修は

職員の積極的な参加で今後も推進

問

新型コロナウイルス感染症警戒期の状況下において、本町職員は、ウィズコロナ対策が必要となり、大変努力している。その中で各種研修等が行われている。職員の基礎となり多岐にわたるものである。

行政の役目は、町民が現状に満足し、将来に夢と希望が持てる生活ができるように手助けをすることで、本町の掲げる「いい人 いい町 いい笑顔・住まいる あやがわ」が達成できるのではないかと。本年度は、特別給付金等、多方面に渡る要請と助成が執行され、本町でも、経済面での補正予算が組まれており、従来の職務に加え、多忙となっており、地域住民への対応は、より複雑化し、難しくなっている。

従来の研修だけではなく、もっと自由に柔軟な人材を育て、地域住民へのサービス提

答

供ができるような職員の視察・研修が求められるればと考えるが、本町の見解は。

職員研修への参加は、職員一人一人の自主性に任せているが、現在そして将来、職務の遂行に必要な知識・技能・態度等が習得できるように、計画的に職員に参加させるようにしている。

一般行政職研修には、毎年延べ30名程度の職員が参加しているが、講師を民間の方に依頼することもあり、講師から受講者への一方通行ではない研修を実施している。

今年度当初は、新型コロナウイルスの影響により、従来参加していた各種研修が中止、延期となる中、町独自で、香川県市町職員研修センターから講師を派遣してもらい初任者研修を実施した。地域住民へのより良いサービスの提供を行うため、接遇マナーを含めた内容の研修を実施してい

る。

また、視察研修については、各課において、業務内容の必要に応じて実施している。昨年度には、台風19号の被害にあった福島県本宮市に職員を派遣し、災害現地での実務経験をさせている。派遣先に災害支援等業務に従事し、町に戻ってから、その業務を他の職員に発表し情報共有した。知識の共有により、災害等の発生時の対応へ応用できると考えている。

このような研修や業務を通じて、自由に柔軟な職員の育成、地域住民へのサービスの提供ができる職員の育成に努める。

また、ウィズコロナの時代に対応した職員研修への参加しやすい環境の整備、研修機会の拡大により、職員の積極的な参加が得られる様、今後とも推進していく。



講座開催のようす



十河 茂 広 議員



エンディングノートの一例

終活支援サポートについて

様々な機会を捉えて取り組んでいく

コロナ禍の中「新しい生活様式」が定められ、今までの当たり前が当たり前でなくなってきた。様々な制限の中で不便を感じている。そのような状況の中、今後の不安、ストレスを抱えているのは高齢者の方ではないか。わが町も、65歳以上の高齢化率が35・4％である。

みが『人生会議』という名称で、広く啓発されている。町においても、3年前より綾歌地区医師会の先生方と『人生会議』の取り組みを進めており、専門職を対象にした研修会、地域住民を対象に「よっしゃ！町医者セミナー」との名称で各地区公民館等で講座を開催している。

問 子どもは県外に移住して帰ってこない。近くに頼れる親類もない。今後介護を必要とする事態になるかもしれない。老々介護も同様、そのような事態になった時、誰に今まで生きてきた自身の歴史産物を託せばいいのか。高齢化社会に則した、行政が関わっていく終活支援サポートが必要ではないか。

答 終活については、人生の最終段階の医療やケアについて元気な時から考えていきたいと思いますという取り組み

問 高齢者の方にもう一歩踏み込んだ施策として講座に合わせた、個人の課題、今後の目標を明確にして、元気なうちに記す事で自分のこと、周りのことを客観的に捉えることが出来るのでは。例えば葬儀の規模、お墓、財産相続など自分の意思を伝え残すことが出来る。もしもの時の手間や、トラブルを避ける事も出来るのではないか。日々生きがいを持って過ごしていただくための町独自のエンディングノートを作成しては。

家族が共有して、色々なトラブル回避のための手段の一つとして使った方がいいように、今後とも広報活動に努めていく。

答 平成26年からいきいきセミナーや、いきいきサロンなどの健康教室で在宅介護や終活について啓発しており、その際もエンディングノートを配布して活用している。参加者の皆さんも非常に関心をもっている。引き続き、様々な機会を捉えて啓発も含め取り組んでいく。

問 2025年問題、8050問題の様々な課題がこれからの行政に降りかかってくると思われる。空き家対策、耕作放棄地、離農等の諸課題を少なからず解決する一助にエンディングノートはなるのではないか。

答 家族が共有して、色々なトラブル回避のための手段の一つとして使った方がいいように、今後とも広報活動に努めていく。



三好 東曜 議員

樹々が生い茂り整備が期待される、道の駅滝宮から滝宮神社までの遊歩道（町道）

道の駅滝宮周辺の整備計画は

各所で対策を行っていききたい

国の重点道の駅候補に指定された道の駅滝宮に今後相当数の人出が予想される。来客は隣接する滝宮公園、滝宮神社、滝宮天満宮まで足を伸ばし、風光明媚な滝宮を散策するであろうが、周辺の整備計画はどう考えているのか。

問 滝宮公園の水質浄化についての対策は。

答 県広域水道企業団の管理区域なので、県に要望をしていく。

問 滝宮神社までの遊歩道の剪定や間伐は。

答 「滝宮神社周辺の環境を守る会」に引き続き委託し、意見を聞きながら支援していく。

問 府中湖サイクリングロードの修繕は。

答 県において、測量・設計業務を終え、予算の

確保ができ次第、発注予定である。

問 滝宮商店街の開発計画は。

答 住民の要望がないため、今は考えていない。商工会へ問い合わせをしていく。

問 滝宮公園の再整備については。コロナ対策としてもウォーキング等運動しやすい公園を。

答 今のところ再整備の計画はないが、今後の研究課題とする。管理者の「川の坂有志会」の意見を聞くなど使いやすい公園を目指したい。

問 コロナ後にインバウンド客増加が見込まれるが、標識やサインなどの対応は。

答 うどん会館の新たなトイレの案内表示は絵文

字、日本語、英語、韓国語、中国語の多言語対応にする。周辺看板は付け替える際に対応し、QRコードも採用する。「主基斎田お田植まつり」「滝宮念仏踊り」「讃岐うどん発祥の地」について、英語版の解説文の作成を行っており、インバウンド客へも綾川町の魅力を発信する予定である。

問 うどん会館の名前にふさわしい内容をどうやって確立するのか。「バーチャルうどんミュージアム」を作ればどうか。

答 讃岐うどん関連商品の充実を図り、また、うどんにまつわる展示物も設置して「讃岐うどん発祥の町」にふさわしい施設とする。



人気が出ているコテージ「TaTuTaの森」



川崎 泰史 議員

動画を使ったコロナ対応の観光発信は

職員撮影の動画を掲載することから始めたい

問

コロナの影響がまだまだ続き、人口集中地域を中心に衰えを見せない。すでに香川県も打ち出しているが、四国内や、香川県内の観光と経済活動の活性化に全力を注ぐべきであると結論した。特にウイズコロナの期間は内部での観光資源の再発見として動画撮影を行ってはどうか。動画での施設紹介や、SNSのリンクなどで、様々な本町の大自然を県内観光向けにコスト消費事例として蓄積しては。地元の人には当たり前の物も、知らない人から見れば宝の山で、掘り起こせば無限に観光資源が湧いてくる。道端の石ころにも物語がある。各種の町の観光資源について上記のような撮影と情報発信を行うことは。

答

柏原溪谷キャンプ村タツタの森は、近年のキャンプブームも追い風となり徐々に利用者及び収入額が増加している。ホームページのリニューアルやメディアへの掲載によりPRを行い、令和元年度は、過去最高の売上高を記録した。

今年度は、新型コロナウイルスの影響でゴールデンウィーク期間から5月末までの休業、6月の再開以降は香川県内の方を対象に運営を行って、一刻も早い新型コロナウイルスの終息を願っている。

提案のあった、タツタの森や長柄ダム、周辺の公園などを動画撮影し、タツタの森ホームページなどで公開することにより、本町のPRが可能である。タツタの森の例とし

て、コテージでの暖炉の様子や、コーヒー焙煎キットの使用動画、また川遊びの様子など、動画の方がより魅力が伝わりやすいと考えられる。コロナ終息後の利用促進のために検討したい。

動画は手始めに職員が撮影して、タツタの森ホームページに掲載することから始め、将来的にはキャンプ村の利用者が撮影した動画を募集し、活用することも検討したい。



9月19日より「TaTuTaの森」がGo Toトラベルの対象になりました



熱中症対策にも有効である、移動式冷風機（スポット・クーラー）



三好重徳 議員

学校の体育館に移動式冷風機を

冷風機の導入を検討し、天井のエアコンは研究課題とする

問

高松地方気象台によると、今年8月、滝宮の猛暑日は計20日間で、降水量はゼロであった。コロナ禍の中、熱中症対策についても例年以上に注意喚起がなされた。学校の体育館は災害時の避難場所、ふだんから集会、体育の授業、部活動等にも使用されるため、クーラー等の

設置は有効である。

学校体育館に移動式冷風機等を導入する考えはないのか。

答

移動式冷風機（スポット・クーラー）について、現在本町では所有していない。この夏、各中学校では大型扇風機4〜6台で対応していた。

しかし、猛暑の中、冷風機

をスポット的に利用することは、体調不良者の看護等にも有効である。設置台数や、購入・リースという点についても協議し、導入を検討する。

学校体育館の天井のエアコン設置は、1億円前後（1校あたり）の費用が見込まれる。利用頻度や他市町の動向も踏まえ、研究課題とする。

自治公民館等の登記名義の状況は

半数以上が認可地縁団体の名義に変わっている

問

従来、自治会等が不動産を取得する場合、代表者等の個人名義による登記しかできなかった。しかし法律改正により、平成3年、市町村の認可を得た自治会等は、団体名義で不動産登記の名義人になることが可能になった。また平成27年、団体名義に変

更するための特例制度が設けられ、要件が緩和された。自治会等が所有する不動産（公民館等）について、本町における登記名義の状況は。

答

現在、町内の自治会数は380である。また、公民館等を有しているのは、複数自治会が共同所有している

ものを含め153館で、そのうち不動産の登記は、認可地縁団体名義のものが81館と把握している。

本町では過去、認可地縁団体についての説明会を開催し、制度が十分に周知されたと考えている。現在も、認可手続等の個別相談に対応している。

がんばるで

綾上少年野球クラブ



代表 鴨部 大輔さん



本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の一環で、春からの大会が軒並み中止、練習は自粛と、特に野球などチームプレイで活動している団体は本当に苦労されたかと思えます。それでも子ども達は、自分たちでできることを頑張り、自粛期間を乗り越えてきました。

そして夏、高校球児たちと同じで全国を目指すことはできませんでしたが、独自の県大会が香川でも開催され、80チーム以上が出場の中、4回戦ベスト8をかけた試合まで進むことができました。この夏は、野球ができることは決して当たり前ではないこと、1つの試合の大切さ、そして仲間と集まってプレーできる喜びを幼いながらも学べたと思います。

下級生から上級生までが、同じグラウンドで一緒に練習しながら絆を作っていく少年野球は、仲間・道具・挨拶の大切さはもちろんのこと、思いやりや感謝の気持ちが育つように心がけています。

今年は体験会ができませんでしたが、団員は随時募集しています。

また新年度に向けての体力作り、新チーム作りはこれからです。グラウンドでは、家では見られない一生懸命な表情と成長を子どもたちは見せてくれます。野球の事はさっぱりわからなくても、何かスポーツをさせてみたいなどお考えの方は、是非一度見学にお越しください。大歓迎です。

●練習時間

土・日曜日 8時～13時

日曜日午後は16時まで

希望練習

●練習場所

綾川町ふれあい運動公園

(B&G)多目的広場

●連絡先

代表 鴨部大輔

080・5662・0331



ジュニアもがんばっています

編集後記

9月定例会は、6月定例会に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、綾南農村環境改善センター2階多目的ホールで実施いたしました。また傍聴については、県内「新型コロナウイルス感染症警戒期」が継続中であったことから、ご遠慮いただいたことへのご理解に感謝申し上げます。本定例会においても、新型コロナウイルス感染症対策を中心とした補正予算が提出され、慎重審議の上、可決いたしました。

秋も深まり、インフルエンザの流行期となり、医療現場の負担増加も心配されます。医療崩壊を防ぎ、市民の皆様の生命と生活の安全安心を守るため、町議会は一丸となって取り組んでまいります。今後も分かりやすい紙面作りに努めますので、一層のご愛読を宜しくお願いいたします。

議会広報編集委員会

委員長 安藤 光
副委員長 松内 広平
委員 三好 東曜
委員 十河 茂広
委員 植田 誠司
委員 西村 宣之
委員 川崎 泰史